



2024年5月28日

各 位

上 場 会 社 名 イーグル工業株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 鶴 鉄二  
(コード番号 6486 東証プライム)  
問合せ先責任者 常務執行役員経本部長 村田 良伸  
(TEL 03 - 3438 - 2291 )

## (訂正・数値データ訂正) 「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2024年5月13日に公表いたしました「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について訂正すべき事項がありましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

### 1. 訂正の理由

「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容について、退職給付会計に関連する会計処理に誤りがあることが判明したため、連結貸借対照表及び連結キャッシュ・フロー計算書並びにその関連情報の訂正を行うものであります。

### 2. 訂正の内容

退職給付に係る資産及び退職給付に係る負債を総額表示に訂正するものであります。連結貸借対照表における総資産、負債の訂正内容は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	訂 正 前	訂 正 後
総 資 産	207,107	209,914
負 債	81,435	84,242

他の訂正内容については、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正後の全文を添付し、訂正した箇所は下線を付して表示しております。なお、連結損益計算書、連結包括利益計算書及び連結株主資本等変動計算書の訂正はありません。

以 上



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月13日  
上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社  
 コード番号 6486 URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務本部長 (氏名) 村田 良伸 TEL 03-3438-2291  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無: 有  
 決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	167,042	6.1	8,107	△12.5	13,799	12.4	7,491	10.2
2023年3月期	157,380	11.7	9,264	22.5	12,277	13.6	6,796	19.0

(注) 包括利益 2024年3月期 23,389百万円 (48.6%) 2023年3月期 15,738百万円 (10.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	160.84	—	6.8	6.8	4.9
2023年3月期	139.82	—	6.8	6.6	5.9

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 3,317百万円 2023年3月期 1,881百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	209,914	125,671	55.6	2,570.06
2023年3月期	193,232	112,930	54.0	2,169.53

(参考) 自己資本 2024年3月期 116,762百万円 2023年3月期 104,419百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	17,741	△12,027	△6,409	31,054
2023年3月期	12,323	△8,054	△3,168	29,271

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	25.00	—	45.00	70.00	3,467	50.1	3.4
2024年3月期	—	35.00	—	45.00	80.00	3,765	49.7	3.4
2025年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00		51.3	

(注) 2024年3月期における1株当たり期末配当金につきましては、35円から45円に変更しております。詳細については、本日(2024年5月13日)公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	83,000	1.1	2,200	△28.7	4,000	△42.3	2,400	△44.6	52.76
通期	170,000	1.8	8,200	1.1	11,000	△20.3	7,100	△5.2	155.82

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	49,757,821株	2023年3月期	49,757,821株
2024年3月期	4,326,163株	2023年3月期	1,627,625株
2024年3月期	46,578,827株	2023年3月期	48,611,504株

(参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	98,041	4.1	1,188	59.3	12,172	14.6	10,371	6.7
2023年3月期	94,158	6.9	746	—	10,623	110.8	9,716	164.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	222.67	—
2023年3月期	199.87	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	147,523	69,751	47.3	1,535.31
2023年3月期	140,583	67,801	48.2	1,408.71

(参考) 自己資本 2024年3月期 69,751百万円 2023年3月期 67,801百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.2「1.経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 経営成績の概況 .....	2
(2) 財政状態の概況 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 経営成績の概況

#### ① 当期の経営成績

当連結会計年度における当社グループを取り巻く環境は、米国経済が好調な内需に支えられ堅調に推移する一方、世界的なインフレと金融引き締め政策、中国経済の停滞、地政学リスクの拡大等により先行き不透明感が強まりました。

このような事業環境のもと、当社グループの事業領域においては、業界により異なった影響を受けました。

その結果、当連結会計年度の売上高は1,670億42百万円（前期比6.1%増）、営業利益は81億7百万円（前期比12.5%減）、持分法による投資利益33億17百万円、為替差益16億30百万円を計上したことにより、経常利益は137億99百万円（前期比12.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は74億91百万円（前期比10.2%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、セグメントごとの利益又は損失の測定方法を変更しております。そのため、以下の前期比較については、前期の数値を変更後の測定方法により組み替えた数値で比較しております。

#### [自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、世界の自動車生産台数の回復基調継続と併せ、為替換算の押し上げ効果もあり、当セグメントの売上高は904億68百万円（前期比6.5%増）、営業利益は16億11百万円（前期比17.7%増）となりました。

#### [一般産業機械業界向け事業]

当事業は、インド・アジアパシフィック・日本の各地域とも好調に推移したことにより、当セグメントの売上高は384億60百万円（前期比13.9%増）、営業利益は32億28百万円（前期比13.8%増）となりました。

#### [半導体業界向け事業]

当事業は、半導体業界の低迷長期化による投資延期等の影響を受け、当セグメントの売上高は150億80百万円（前期比9.7%減）となりました。売上減少に加え固定費の増加もあり営業損失7億53百万円（前期は営業利益15億87百万円）となりました。

#### [船用業界向け事業]

当事業は、新造船需要の増加により、当セグメントの売上高は149億84百万円（前期比10.6%増）、営業利益は33億74百万円（前期比1.4%増）となりました。

#### [航空宇宙業界向け事業]

当事業は、衛星関連商品の販売減により、当セグメントの売上高は80億49百万円（前期比4.3%減）となりました。営業利益はプロダクトミックスにより6億25百万円（前期比343.8%増）となりました。

#### ② 次期の見通し

ロシア・ウクライナ紛争等地政学リスクの高まりが原材料価格やエネルギー資源の高騰に拍車をかけることも懸念されますが、経済環境は回復基調にあり、売上・営業利益ともに当期を上回る見込みであります。経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は、当期に計上した為替差益を見込んでいないこともあり、当期を下回る見通しであります。

セグメントごとの見通しは以下のとおりであります。

自動車・建設機械業界向け事業は、自動車生産台数は増加するものと見込んでおりますが、自動車補器の電動化影響を受け、当期並みの販売を見込んでおります。

一般産業機械業界向け事業は、インド・アジアパシフィック・日本ともに引き続き良好な需要に支えられ販売増を見込んでおります。

半導体業界向け事業は、生成AIの活用の拡大、PCやスマートフォンの需要回復に伴うロジックやメモリの市況回復による販売増を見込んでおりますが、更なる需要拡大に対応するため生産能力の拡張を進めており、人員増・償却費増により、減益になる見通しであります。

船用業界向け事業は、新造船市況の好調継続が見込まれる一方、修繕部品の需要減の影響を受け、当期並みの販売となる見通しであります。

航空宇宙業界向け事業は、航空機関連製品の需要増継続に伴い販売増を見込んでおります。

次期の連結業績予想としましては、売上高1,700億円（前期比1.8%増）、営業利益82億円（前期比1.1%増）、経常利益110億円（前期比20.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益71億円（前期比5.2%減）を見込んでおります。

## (2) 財政状態の概況

## ① 資産、負債、純資産の状況

当連結会計年度末における資産は2,099億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ166億81百万円増加しました。これは主に有形固定資産が45億4百万円、投資有価証券が35億24百万円、棚卸資産が29億4百万円、退職給付に係る資産が28億6百万円増加したことによるものであります。

負債は842億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億39百万円増加しました。これは主に退職給付に係る負債が29億74百万円減少した一方、借入金が50億6百万円、その他の流動負債が7億84百万円、未払金が6億5百万円、未払法人税等が4億61百万円増加したことによるものであります。

純資産は1,256億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ127億41百万円増加しました。これは主に剰余金の配当により39億円減少した一方、親会社株主に帰属する当期純利益を74億91百万円計上したほか、為替換算調整勘定が90億48百万円増加したことによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は310億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億82百万円の増加となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主要要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は177億41百万円（前期比44.0%増）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益128億35百万円、減価償却費105億50百万円を計上した一方、法人税等の支払いにより32億81百万円支出したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は120億27百万円（前期比49.3%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得により111億48百万円支出したことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は64億9百万円（前期比102.3%増）となりました。これは主に長期借入れにより174億円獲得した一方、長期借入金の返済により126億87百万円、配当金の支払（非支配株主への支払いを含む）により57億62百万円、自己株式の取得により52億54百万円支出したことによるものであります。

なお、キャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	44.9	47.8	52.1	54.0	55.6
時価ベースの 自己資本比率 (%)	20.0	33.1	26.5	29.6	39.6
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (年)	2.6	2.4	3.0	3.2	2.5
インタレスト・カバレッジ・ レシオ (倍)	38.6	43.7	31.3	32.3	35.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利息支払額

(注) 1. いずれの指標も連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により算出しております。

3. キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを使用しております。

4. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、現在は、日本基準で連結財務諸表を作成しておりますが、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,581	32,536
受取手形	1,565	1,622
売掛金	30,977	32,953
電子記録債権	5,073	6,429
商品及び製品	11,606	12,245
仕掛品	8,298	9,003
原材料及び貯蔵品	12,961	14,522
未収入金	3,745	4,213
その他	3,008	2,533
貸倒引当金	△105	△102
流動資産合計	107,712	115,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,717	53,813
減価償却累計額	△25,702	△28,544
建物及び構築物 (純額)	25,015	25,268
機械装置及び運搬具	88,676	97,106
減価償却累計額	△67,354	△75,808
機械装置及び運搬具 (純額)	21,322	21,297
工具、器具及び備品	17,462	18,659
減価償却累計額	△13,918	△15,213
工具、器具及び備品 (純額)	3,543	3,445
土地	6,522	6,870
リース資産	3,201	3,611
減価償却累計額	△1,598	△2,005
リース資産 (純額)	1,603	1,605
建設仮勘定	2,871	6,895
有形固定資産合計	60,879	65,383
無形固定資産		
のれん	829	426
その他	1,898	1,899
無形固定資産合計	2,727	2,325
投資その他の資産		
投資有価証券	14,733	18,257
長期貸付金	475	441
退職給付に係る資産	—	2,806
繰延税金資産	5,294	3,164
その他	1,518	1,734
貸倒引当金	△109	△156
投資その他の資産合計	21,913	26,248
固定資産合計	85,519	93,957
資産合計	193,232	209,914

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,655	9,134
電子記録債務	2,590	2,742
短期借入金	2,148	2,427
1年内返済予定の長期借入金	11,475	11,975
未払金	3,063	3,668
リース債務	484	563
未払法人税等	1,855	2,316
契約負債	595	383
従業員預り金	4,230	4,345
賞与引当金	2,818	2,931
受注損失引当金	646	800
その他	4,894	5,678
流動負債合計	44,457	46,968
固定負債		
長期借入金	20,508	24,735
リース債務	850	874
退職給付に係る負債	13,120	10,146
環境対策引当金	300	299
その他	1,064	1,217
固定負債合計	35,844	37,273
負債合計	80,302	84,242
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,819	11,819
利益剰余金	75,824	79,415
自己株式	△1,884	△6,769
株主資本合計	96,249	94,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	518	877
為替換算調整勘定	7,310	16,359
退職給付に係る調整累計額	340	4,568
その他の包括利益累計額合計	8,170	21,805
非支配株主持分	8,510	8,909
純資産合計	112,930	125,671
負債純資産合計	193,232	209,914



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	157,380	167,042
売上原価	119,893	129,385
売上総利益	37,487	37,657
販売費及び一般管理費	28,222	29,549
営業利益	9,264	8,107
営業外収益		
受取利息	364	648
受取配当金	33	43
持分法による投資利益	1,881	3,317
為替差益	1,062	1,630
受取賃貸料	120	125
その他	829	638
営業外収益合計	4,293	6,404
営業外費用		
支払利息	415	522
製品補償費	796	19
その他	68	170
営業外費用合計	1,280	712
経常利益	12,277	13,799
特別利益		
固定資産売却益	42	11
投資有価証券売却益	173	151
特別利益合計	216	162
特別損失		
固定資産売却損	10	6
固定資産除却損	101	69
減損損失	163	1,051
特別損失合計	275	1,126
税金等調整前当期純利益	12,218	12,835
法人税、住民税及び事業税	3,710	3,647
法人税等調整額	△142	101
法人税等合計	3,567	3,749
当期純利益	8,650	9,086
非支配株主に帰属する当期純利益	1,853	1,594
親会社株主に帰属する当期純利益	6,796	7,491

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	8,650	9,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87	349
為替換算調整勘定	3,497	7,536
退職給付に係る調整額	2,030	4,225
持分法適用会社に対する持分相当額	1,471	2,190
その他の包括利益合計	7,087	14,302
包括利益	15,738	23,389
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	13,690	21,127
非支配株主に係る包括利益	2,047	2,261

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,490	11,296	71,483	△213	93,057
当期変動額					
剰余金の配当			△2,456		△2,456
親会社株主に帰属する 当期純利益			6,796		6,796
自己株式の取得				△1,887	△1,887
自己株式の処分		522		216	739
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	522	4,340	△1,671	3,192
当期末残高	10,490	11,819	75,824	△1,884	96,249

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	458	2,950	△2,133	1,275	8,761	103,094
当期変動額						
剰余金の配当						△2,456
親会社株主に帰属する 当期純利益						6,796
自己株式の取得						△1,887
自己株式の処分						739
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	60	4,359	2,474	6,894	△250	6,643
当期変動額合計	60	4,359	2,474	6,894	△250	9,835
当期末残高	518	7,310	340	8,170	8,510	112,930

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,490	11,819	75,824	△1,884	96,249
当期変動額					
剰余金の配当			△3,900		△3,900
親会社株主に帰属する 当期純利益			7,491		7,491
自己株式の取得				△5,238	△5,238
自己株式の処分				353	353
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	3,591	△4,884	△1,293
当期末残高	10,490	11,819	79,415	△6,769	94,956

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	518	7,310	340	8,170	8,510	112,930
当期変動額						
剰余金の配当						△3,900
親会社株主に帰属する 当期純利益						7,491
自己株式の取得						△5,238
自己株式の処分						353
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	358	9,048	4,228	13,635	399	14,035
当期変動額合計	358	9,048	4,228	13,635	399	12,741
当期末残高	877	16,359	4,568	21,805	8,909	125,671

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	12,218	12,835
減価償却費	9,927	10,550
減損損失	163	1,051
持分法による投資損益 (△は益)	△1,881	△3,317
のれん償却額	424	387
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	33
賞与引当金の増減額 (△は減少)	125	68
<u>退職給付に係る資産又は負債の増減額</u>	<u>△174</u>	<u>△39</u>
受取利息及び受取配当金	△398	△692
支払利息	415	522
有形固定資産除売却損益 (△は益)	68	63
投資有価証券売却損益 (△は益)	△173	△151
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,285	△1,038
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,715	△1,166
その他の資産の増減額 (△は増加)	220	182
仕入債務の増減額 (△は減少)	△48	△1,866
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△112	154
その他の負債の増減額 (△は減少)	△632	956
その他	100	△589
<b>小計</b>	<b>14,247</b>	<b>17,945</b>
利息及び配当金の受取額	1,890	3,584
利息の支払額	△382	△506
法人税等の支払額	△3,433	△3,281
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>12,323</b>	<b>17,741</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,439	△11,148
有形固定資産の売却による収入	217	86
無形固定資産の取得による支出	△738	△681
投資有価証券の取得による支出	△8	△6
投資有価証券の売却による収入	272	283
定期預金の預入による支出	△21	△157
定期預金の払戻による収入	613	70
その他	51	△474
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△8,054</b>	<b>△12,027</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	8,424	15,773
短期借入金の返済による支出	△8,623	△15,520
長期借入れによる収入	14,950	17,400
長期借入金の返済による支出	△11,370	△12,687
自己株式の売却による収入	739	320
自己株式の取得による支出	△1,887	△5,254
配当金の支払額	△2,456	△3,900
非支配株主への配当金の支払額	△2,298	△1,862
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△647	△679
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,168</b>	<b>△6,409</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,169	2,477
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,269	1,782
現金及び現金同等物の期首残高	27,001	29,271
現金及び現金同等物の期末残高	29,271	31,054

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位で分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社では製品が使用される業界別に事業分野を設定し、「自動車・建設機械業界向け事業」、「一般産業機械業界向け事業」、「半導体業界向け事業」、「船用業界向け事業」、「航空宇宙業界向け事業」の5つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

当連結会計年度より各セグメントの業績をより適切に評価するため、全社共通費の配賦方法を変更しております。なお、前連結会計年度のセグメント情報においても変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

I 前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：百万円）

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整又 は全社	連結財務諸 表計上額
売上高								
外部顧客への売上高	84,949	33,761	16,702	13,553	8,413	157,380	—	157,380
セグメント間の内部売上高 又は振替高	164	136	—	5	—	305	△305	—
計	85,114	33,898	16,702	13,558	8,413	157,686	△305	157,380
セグメント利益	1,369	2,836	1,587	3,326	140	9,260	4	9,264
セグメント資産	93,683	45,594	13,778	12,034	11,051	176,142	17,090	193,232
その他の項目								
減価償却費	6,429	1,924	643	482	231	9,712	215	9,927
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	4,778	1,553	3,007	258	171	9,769	430	10,200

報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

- セグメント利益の調整額4百万円は、セグメント間取引取消去であります。
- セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- セグメント資産のうち、調整又は全社の項目に含めた全社資産の金額は224億87百万円であり、その主なものは、当社の現金及び預金、未収入金、ソフトウェア及び繰延税金資産であります。
- その他の項目の減価償却費と有形固定資産及び無形固定資産の増加額のうち、調整又は全社の項目に含めた全社の金額は、主に当社のソフトウェアであります。

Ⅱ 当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：百万円）

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整又 は全社	連結財務諸 表計上額
売上高								
外部顧客への売上高	90,468	38,460	15,080	14,984	8,049	167,042	—	167,042
セグメント間の内部売上高 又は振替高	157	126	—	2	—	286	△286	—
計	90,626	38,586	15,080	14,986	8,049	167,329	△286	167,042
セグメント利益又は損失（△）	1,611	3,228	△753	3,374	625	8,086	20	8,107
セグメント資産	98,583	49,884	18,971	11,383	11,641	190,464	19,449	209,914
その他の項目								
減価償却費	6,716	2,134	749	500	234	10,335	215	10,550
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	4,608	1,523	4,943	243	125	11,444	496	11,941

報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

- セグメント利益又は損失の調整額20百万円は、セグメント間取引消去であります。
- セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- セグメント資産のうち、調整又は全社の項目に含めた全社資産の金額は230億66百万円であり、その主なものは、当社の現金及び預金、未収入金、ソフトウェア、退職給付に係る資産及び繰延税金資産であります。
- その他の項目の減価償却費と有形固定資産及び無形固定資産の増加額のうち、調整又は全社の項目に含めた全社の金額は、主に当社のソフトウェアであります。

（1株当たり情報）

前連結会計年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）	当連結会計年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
1株当たり純資産額 2,169.53円	1株当たり純資産額 2,570.06円
1株当たり当期純利益 139.82円	1株当たり当期純利益 160.84円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（注）1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）	当連結会計年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	6,796	7,491
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	6,796	7,491
期中平均株式数（株）	48,611,504	46,578,827

（重要な後発事象）

該当事項はありません。